

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境の下でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう援助することを目的とし、介護従事者が日常的に取り組んでいる	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの意義や目的を、全職員が理解し、理念に基づいたケアを実践している	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	周囲に学校、保育所、学習センター、神社等等あり、行事には、積極的に参加している 郵便局、農協など金融機関を利用されている方もいる	
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の中心地にあり高齢者も多いため、ホールにソファア、炬燵を置き、いつでも自由に立ち寄ってもらえるよ場所を備えている 友人を尋ねてこられる方も少なくはない	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	祭りや、相撲大会等、伝統行事の見学や、地区の文化祭には、趣味活動時間に作った、草履やお手玉、生花を出品し、行事参加に努めている 近くの商店に買い物に行き、店員やお客との顔馴染みの関係もでき、買い物を楽しまれている	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>法人の老人住宅と毎月1回交流会を行い、お茶を飲みながら、世間話をしたり、年末にはクリスマス会を行ったりと馴染みの関係をつくり上げている</p>	○	<p>広い園庭を利用し、地区の方にペタンクコートとして使ってもらうよう提供している。一緒にゲームに参加できるようになりたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価項目について全職員で一つ一つねらいや活用方法について理解をし、質の向上に努めている</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議での入居者、役員の意見や、支援についての問題点、対策案を書面をもって介護従事者に報告し、再度検討の結果、支援を実施しサービスの向上に努めている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>役場の担当課の訪問や民生委員の訪問もある地域包括センターを通じ転倒予防教室を行い、入居者に適した健康体操を導入し毎日行っている</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度についての説明資料、パンフレットと通じて情報提供を行っている 運営員会に於いて、制度の必要な方の検討をおこなったが、今のところ、必要な方はいない</p>	○	<p>本人、家族との関係を通して、個々の必要性について、随時検討していきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止法について勉強会を行い、入居者が日常生活の中で、虐待を受けていないかどうかの観察に注意を払っている</p>	○	<p>定期的に、勉強会を行い知識を習得し、予防、防止に努めていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
○			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申込者、またはその家族から、サービス提供前の問い合わせ、及び見学に対する仕組みがある 入所申込み社のサービスの選択に関する重要事項についての説明をし、同意を得ている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会の委員に入居者代表がおり、生活についての不満、感想を述べ、それについて会員より意見を求め、介護従事者と検討を行い支援を実施している	○ 運営推進会毎に、入居者の意見、不満、苦情の内容を上げ、対応についての結果報告を行い、常に入居者の方がいごごちのよい場であるよう心がけていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	入居者の生活の様子について面会時に口頭や写真で報告している 健康状態に変化が見られるときには、随時電話による連絡をしている	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設けている 運営推進会の委員に家族代表がおられ家族等の率直な意見や不満、苦情を言えるよう、意見を求めている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	入居者、職員皆で行事や内容について話し合い充実した物を作ル上げ、グループホームの支援について理解を深めている 支援について随時、全員で話し合い納得のいくサービス提供を行っている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ホームの行事には出来るだけ全員が参加できるような勤務体制をとっている 入居者や家庭の個別の状況等、個別の要望にそって必要な支援を行うため、臨機応変な対応を行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職希望の職員に、管理者が相談にのりできるだけ残職できるような話し合いの場を持っている 入居者には家庭の都合で止むをえないとタイミングをみて説明し納得していただいている		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修には職員全員の参加を呼びかけ、出席している グループホームに関する知識を得るため、月1回の職員会時、研修を行っている	○	認知症に関する知識を全職員が習得し入居者の支援に取り組んでいきたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職場外研修に積極的に出席し、情報を収集し、サービスの向上に努めている		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職場外で2～3が月に1度交流会を行いお互いに信頼関係を深めている フロアの一角に炬燵がありそこでの休息が心身を休める場となっている		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	行事等の起案書を作成し、目的や内容の把握を誰もが理解し、反省会を行い、次回の行事などに活かしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所決定前に自宅を訪問し、家族を受け止めつつ、時間をかけて本人の話のに耳を傾け、本人を受けとめる努力をしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の立場に立って話しをしっかりと聞き、本人と家族との思いの違いを理解しながら、家族自身を受けとめる努力をしている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を基に、優先順位をつけ、一緒にサービスを決めている 随時、サービス変更必要時は本人、家と相談し、サービスを行っている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所申込者、又は家族からのサービス提供契約前問い合わせや、見学に応じている 情報をできるだけ多く入手し、サービス内容について自宅での状況とすりあわせながら、徐々に居室で過ごす時間からホールで過ごす時間を増やし、食事や趣味活動を通じみんなに馴染めるような雰囲気をつくっている	
ny			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者主体を念頭に入居者が意思決定できるような声かけ、雰囲気を作り、生活暦の中から自身を持ってできることを探している 生花の先生をされていた方と、自宅に花材をとりに行き一本一本記憶を取り戻しながら時間をかけて生け、出来上がった時の達成感を共感している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の望むことを第一に置いて、生活の様子を報告し、サービス内容について一緒に検討している ホテルで賄いをされていた方おられ、毎食後全員の食器洗いを手際よくされており、面会時にその姿を見られた家族は、自宅ではしてないことを自然体で行っている姿に感動されていた		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人から、家族に連絡を入れたい時は、町内であれば1回10円、それ以外の場所は、100番を通じいつでも自由に電話を掛けることができるようにしてある 本人と家族双方の立場になり、充分話し合いの時間をつくり、相談の結果に基づいた支援を行っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容院に通っている方がいる 行きつけの洋服店に出かけ、出かけることで友人、知人が集まり久々の出会いにお茶を頂き、昔話に花を咲かせられる 自宅に生花用の花や、木々があり、花材をとりに出かけ、玄関やホール、同法人の清松園にも生けている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーション、買い物、お出かけ等気の合った同士で声かけ、お誘いし楽しんで入る 畑作業をされる方2名おり、二人そろって何を植えるか、いつ草抜きするか等、作業を通して協力している光景が見られる 食事時は盛り付け担当や、洗物担当の役割ができています		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年賀状をもって挨拶している 狭い島なので出合った時は、その後同過されておられるかと、挨拶を交わしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	発言や行動の中から生活歴との関係を探り、本人を理解する話し合いを、随時、又は処遇会で行っている 出来る限り本人が意思決定できるような声かけに努めている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人と日常生活における行動や、会話の中で、一人一人がどのような環境で過ごされていたのか把握、理解し、その人らしく生活できる環境を創り出している 自宅での普段の生活どうり、日中は畑作業、夕方は洗濯たたみや、夕食準備を行っている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人について、自宅でできていたこと、今までしてきたこと等を取り入れ、現在の生活に役立て、自身を持っていただいている 米とぎ、食事準備、食器洗い、洗濯たたみ、部屋掃除等、出来る方にそれぞれ行っている	
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介助靴の購入や、補聴器の修理、購入について、本人、家族、介護従事者、専門家と連絡を取り、身体機能にあわせた最も適している物を購入している ポータートイレが体重の移乗により動くときありポータートイレの足に滑り止めマットを取り付ける	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日のミーティング時、入居者に変化があった場合は、随時支援の見直しを行い、家族に状況報告をし、相談の上、見直しを行っている 毎月1回の処遇会を定期的実施し、支援についての再確認をし、現状に適した支援を行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のカーデックスに毎日の様子を記録している レク活動記録には、参加者の表情、様子等、介護従事者の気づきも記入している 連絡ノートに日々の変更を記入し、読み終えたら必ずサインをすることとし、サービスの統一を図っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム専用の軽自動車があり、天気のよい日は、入居者の希望の行きたい場所や、買い物等その日、その時に対応している 時々法人のワゴン車を借り、皆でお出かけを楽しんでいる		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年末に中学生ボランティアによる窓拭きを行って頂く ホーム周辺が広いので、地区のペタンクメンバーによる草刈を行って頂く 地域文化祭に作品を出品しお礼の葉書が届いた時は、全員喜んでおられ次回出品の希望に繋がった		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入所前に担当のケアマネージャから本人の生活の様子や、家族の希望等、直接会って情報収集を行っている 理髪に出かけることが出来ない方には、出張理髪をして頂き、さっぱりとした気分を味わっている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	転倒予防対策として健康体操や転倒予防運動の教室を行い、毎日のラジオ体操の時間に取り入れている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの医師に定期的に受診し服薬や、生活に対する指導を受けている 受診時に必ず家族が付き添われる方もいる		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの医師による受診時、服薬、健康状態、生活の様子を通して、指示、助言を頂いたり、相談している		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日、入浴前に体温、血圧を測定記録し、個々の平常値を把握している 体調の変化時は、かかりつけの診療所、歯科等、電話予約で受診をしている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	普段から入院設備のある病院を利用している 入院時は病室を訪ねる等して馴染みの関係を保っていく 入院時も家族、本人の支えになり、退院計画を、病院関係者と一緒に考えていく		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りについての指針がある 本人、家族、医療機関、介護従事者と連携をとり支援していく 全員で研修会を行う等、検討が必要		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関、本人、家族、介護従事者と連携を図りながら、安心と安全を確保した支援を行う		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>毎日の医療行為が必要になり本人に適した治療ができないため、家族、本人と受け入れ先の老健施設担当者、生活の様子について十分な話し合いの結果退所となる</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日常生活の言葉使いのついて、尊敬と、目上の方であるという意識を持ち、職員全員、注意を払っている 常に本人の気持ちに置き換え、対応を行っている 個人情報のファイル綴りを、鍵のかかる書庫に保管してある</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>職員の思いではなく、本人がどうしたいかを自己決定できるような声かけや、対応を行っている 本人の心身能力にあわせて、ラジオ体操の参加、入浴、外出等お伺いをたて、本人の意思で行動して頂いている</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>天気のよい日は、入居者一人一人に問いかけ、ホームの軽乗用車で、買い物、ドライブ等、行きたい方で行きたいところに出かけている 水仙見学、紅葉見学等、名所めぐりには、皆で出かけた希望があり、法人の乗用車を借り出かけることもある</p>	<p>一人一人の思いを受け入れ、職員の都合ではなく、ゆとりを持って支援していきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入所前から行きつけの美容院があり、今でも職員とホームの車でかけて、久しぶりに馴染みの友人や知人に出会い、昔話に会話がはずまれる いきつけの洋服屋があり、色、柄、形等一つ一つ手に取り、生き生きとして自分の好みのものを選ばれる</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人の給食をほとんど毎日利用している 盛り付けを職員と一緒に、できる方にして頂いている ホテルの賄をしていた方おり、職員と一緒に片づけを進んでされている 冬の寒い時期、鍋を食べたいと希望あり、食材選びから下準備、片付けまで、一連の作業を行い、満足しておられた	○	朝食の下ごしらえを、前日の夕方の時間に行う計画をしている。入居の方が中心となり作業を行ってきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時に牛乳、プリン、ヨーグルト、コーヒー等好みの物を準備している コーヒー、ココア、お茶はいつでも自由に飲んで頂けるよう、ホールの一角に置いている		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレに手摺りがあれば一人でトイレの入り口から便座まで移動できると希望があり、3箇所のトイレのうち1箇所に手摺りを取り付け、時間はかかるが自分でいかれ、自立とプライバシーの保護に努めている 職員も同じトイレを使用し、汚染があれば気がついた職員が掃除をし、失敗を責めることはしない		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助入浴の方については、本人と相談し、ゆとりを持って、他の方に遠慮することなくリラックスできる時間であるよう、一対一の入浴を行っている 自分で入浴できる方は、いつでも自由にはいれるようになっている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自宅で使用していたコタツやテレビ、タンス等居室に置き、自宅にいたときとなるべく変わらない環境と、生活リズムで過ごしていただいている 夜間足の痛みでトイレに行く事が困難で、心配している方には、夜間のみポータートイレを設置し安心して休んで頂いている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	若い頃畑や、田んぼの農作業をしていた方には、ホーム周辺に畑を作り、カブ、ねぎ等の苗を植え、成長を楽しみながら草抜きや、水やりをされ、収穫時には、味噌汁の具材にし、皆に喜んでいただいている 生花の先生をされていた方は、一緒に花材をと出かけ時間はかかるが一緒に生け、完成を喜んで		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人は、小遣い程度持っており、自由に遣っている 買い物に出かける時は、職員も同行し、本人がお金を持って支払い、金銭感覚を養っている 病院受診時も各自で支払いをしていただいている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日は、各自に希望を聞き、買い物、ドライブ等、法人のワゴン車、ホームの軽自動車を利用し、少人数、大人数でも対応でき、行きたい時に、行きたい場所に出かけている 馴染みの理髪店に出かけ、友人、知人に会えることを楽しみにしておられる		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	出かけた場所をうかがい、季節ごとに遠足、紅葉見学、花見等弁当をつくり、行って見たい場所に全員で出かけている 個人では、あまり希望聞かれない	○	お盆、彼岸の墓参りに各自で出かけ、故郷を偲んだり、一人ひとりの希望を聞いて行きたいところに来るだけ出かけた。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙の内容をできるだけ本人で考えて、漢字やイメージが浮かばない時は職員が支援しながら、自筆で書いていただいている 町内の電話代10円、それ以外は100番通話で料金をいただき、子機を使い居室で、いつでも、自由に電話を使用している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ホールにソファやコタツを置き、リラックスできる雰囲気になっている 来客用コーヒーをホールの一角に置き、入居者がコーヒーを入れ、居室やコタツで訪れた方を迎えている 居室で過される方には、食堂の椅子を貸し出している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、職員全員周知徹底している	○	定期的に、勉強会を行い、予防、防止に努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	生活の様子を、面会時又は電話で報告し、リスクについて本人、家族を交えて話し合い、納得の結果支援を提供している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	健康チェックを毎日行い、血圧や体温、体調に変化が生じた時は当日の勤務者で入浴、食事等身体的支援や、精神的支援について速やかに対応している 朝夕の申し送りと連絡ノート、個人記録に残し、全員が状況を理解している		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後服薬に変更があった時は、看護師より介護従事者に薬の説明を行い、個人記録に薬の作用等説明をつけ、個人の服薬状況を把握している 服薬時は必ず名前の再確認と、手渡しをしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝健康体操を行い出来るだけ全員参加し、身体を動かしている 午前のおやつに、牛乳、ヨーグル等、乳製品を取り入れ、又水分を摂取するように声掛けを行っている 押し車や手すりを持ち、長い廊下を利用し、歩く運動をされている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週1回義歯の消毒をおこなっている 長年の居宅生活の中で、義歯が合わなくなったり、虫歯がある方は、近くの歯科に出かけ治療を受けている 毎食後の航空ケアの声かけや、見守りを行い、最低でも夕食後は必ず行っていただいている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人が提供する食事を頂いている 五前後々のおやつ時は必ず水分を摂っていただいている 夜間の水分摂取も充分できるよう居室にポット、ヤカン等用意して頂き配茶している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザ予防接種を、本人家族の了解の下、全員摂取している 感染予防、対応マニュアルがあり職員全員周知徹底している 外出から帰ったら必ず手洗い、うがい、アルコール消毒を実施している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	おしぼり、台フキンは毎食後必ずハイター液に15分以上浸けて殺菌している 個人のコップ、湯のみ茶碗をない日曜日にハイター消毒を実施 おやつや牛乳等の乳製品は新鮮な物を、2日1度、毎日分を仕入れている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入居者の家族に建設会社を運営されている方おられ、玄関の階段を特に高齢者が出入りしやすいよう、スロープと手すりにする工事をボランティアでされていた 玄関内にスロープを取り付け、段差を解消している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、食堂の壁がコンクリートで冷たく感じられるので行事の写真等、入居者の了解の下掲示している ホールの一角にクリスマスツリーや凧等、季節ごとの飾り付けをし、四季を感じている 玄関、ホールに入居者の方が生けた生花を飾っている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前に電気の掘炬燵があり、横になって休めるようになっている 又炬燵の近くにソファを置き足の悪い方も腰掛けて休むことができる様にしてある 地域行事のビデオテープがあり、昔を思い出して懐かしんでおられる		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	○	本人が安心して、いごごちのいい場所であるような 居室にしていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
V. サービスの成果に関する項目				
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない		
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない		
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない		
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない		
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない		
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない		
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない		

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)